



かわの忠正ニュース

ただまさ

発行所：公明党川崎市議団 発行人：かわの忠正 住所：幸区小向西町3-51 TEL 044-511-0687 FAX 044-556-0176

H22年 第4回定例会
決算審査特別委員会

かわの忠正議員は、9月27日、決算審査特別委員会で質問に立ち、
①危険な踏切の安全対策 ②雨水浸水対策強化 ③うつ病対策の拡充
④市職員採用条件の改善について、取り上げました。

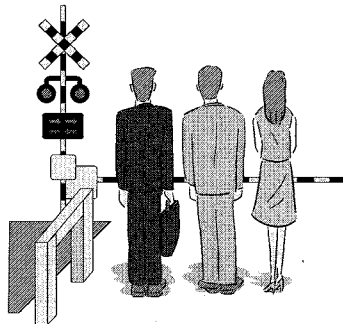
危険な踏切の安全対策

JR南武線柳町踏切の歩行空間拡大へ

かわの忠正議員は、「幸区内の踏み切りには、車いすや乳母車の幅より狭い歩行帯がある。それらが通行するには危険が伴う状況にある」と指摘し、その安全対策を質しました。

特に、JR南武線柳町踏切では両側の歩行帯が狭く、最狭な個所は20数cmである実例を挙げ、早急に臨時処置を含め、恒久的な安全対策を図るべきだと主張しました。

まちづくり局長は、「開発計画は外溝形状など検討を進める段階である。事業実施が明確になった段階で歩行空間の確保に向けて協議を行う」。建設緑政局長からは「路面表示による注意喚起や隣接の敷地に歩行者空間の確保などJRと協議をしていく」と答弁しました。



雨水の浸水対策の強化を!

小向西町～戸手1丁目など

かわの忠正議員は、近年の集中豪雨等による浸水被害の不安が高まっている事から、浸水実績地域への対策を訴えました。特に小向西町～戸手1丁目へ雨水貯留管を設置するべきと求めました。



質問するかわの忠正議員

上下水道事業管理者は「これまでの浸水実績を考慮し、下水道流水被害軽減総合事業を進めてきた。当該地区の浸水被害は地形的な要因などにより雨水が適切に排除されなかった。雨水貯留管は全体を整備するには多大な費用と期間が必要となる。即効性のある当面の対策として、雨水樹の改修や増設などで取り組んでいく」と答弁しました。

うつ病対策の拡充を!

携帯電話利用によるチェックを!

かわの忠正議員は、6月議会での代表質問に続き、うつ病対策について本人や周囲の人が早期に発見し早期に対応する事が重要だと主張し、取り組みの強化を質しました。

さらに、本市の採用しているメンタルヘルス対策のホームページは読みにくく精神状態を的確に把握する機能に欠けている点を指摘し、これらの改善を主張しました。

健康福祉局長は「今年度中に、自殺未遂者の実態調査を新たに実施する。自殺対策のホームページについては、他都市を参考するとともに、より分かりやすく、使いやすいものとなるよう検討していく」と答弁しました。

市職員採用条件の改善を!

かわの忠正議員は、市職員のアルバイト（臨時的任用職員）を採用選考する際、一部の部署が「健康状態」を*選考条件にしており、健診費用も自己負担させている事を取り上げ、適正な採用選考に改めるべきと主張しました。

*厚生労働省就労支援室では、採用条件に「合理的、客観的に必要性が認められない採用選考時の健康診断の実施は就労差別につながる恐れがある」と指導している。

こども本部長は「今後、採用条件とはしない。検査費用は（法令に基づき）雇用主負担となるようより適正な業務執行に取り組む」と答弁しました。

かわの忠正議員が6月議会で取上げた質問が続々実現・進展!!

平和推進事業が前進!

市が「平和市長会議」に加盟

かわの忠正議員は6月10日、本会議代表質問で、「平和市長会議(※)へ本市も加盟し、平和都市として発信していくべきだ」と主張しました。

市長は「核兵器廃絶に向けた機運の高まりを機会として、平和市長会議への加盟を検討することも含め、本市の平和施策を推進してまいりたい」と答弁しました。

本市は8月1日、平和市長会議へ加盟し、今後、平和推進事業を展開していくことになりました。

平和市長会議に加盟
市、核廃絶の国際機運受け

川崎市は一日付で、念式典への国連事務総核兵器のない世界を目指す「平和市長会議」に加盟した。加盟都市の拡大を目指す同会議の要請を受け、加盟を決めたという。

阿部孝夫市長は三日の定例記者会見で「オバマ大統領のプラハ演説や、広島

長らの出席など、世界的に核兵器廃絶や平和への国際的な機運が高まっている。この機会を逃さずに平和市長会議に加盟し、平和推進事業を展開したい」と話した。

(平成22年8月4日付東京新聞)

※平和市長会議：被爆地の広島市が呼びかけ、世界の都市が国境を越えて核兵器廃絶に向けて連帯を進める目的で、1982年に設立。8月1日現在、広島、長崎、横浜、パリ、サンフランシスコなど、144カ国の4069都市が加盟している。

(仮称)家庭保育福祉員 共同型が新設

かわの忠正議員は6月議会代表質問で保育所待機児童解消策を取り上げました。「計画を前倒して、家庭保育福祉員を大幅に増員すべきだ」と質し、「児童を家庭保育福祉員の自宅で預かる規定を見直し、貸しアパート等も使用できる(仮称)家庭保育福祉員共同型を導入すべき」と提案しました。

これに対し、提案が受け入れられ、9月議会の補正予算では、家庭保育福祉員が共同で施設を賃借し、保育事業を実施する場合は居室改修費、開設前の賃借料を補助することになりました。

具体的には、平成23年度から開始されます。規模は3箇所開設、児童数27名受け入れ、家庭保育福祉員9人増員です。



古市場コミュニティ道路

明年早々に補修開始

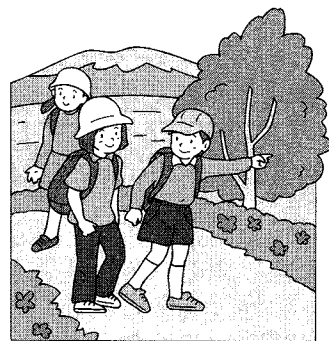
かわの忠正議員は「歩きづらい、危険だ、なんとかしてくれ」との住民の要望をうけ、過去3回の議会質問をしてきました。

いよいよ、H23年1月から、補修工事が開始される予定となりました。

工事区間は多摩川方面からバス通りまでの約220mの区間。

今後、年度毎に地域を区切り、天然石からアスファルトに改修、歩道舗装、L型側溝の設置、街路樹の移設などが行われます。

実施にあたり、近隣住民のご意見を反映してまいります。



市民相談室随時開設中♪

市政報告会もご希望に応じ随時開催!

まずは、お電話下さい。公明党川崎市議団 **かわの忠正事務所**

☎044-511-0687

kawano-tadamasa@k7.dion.ne.jp

川崎市幸区小向西町3-51